

発寒地区では、町内会・商店街・子ども会・小学校・青少年育成委員会などが協力してさまざまな環境活動に取り組み、環境に優しいまちづくりを呼び掛けています。



落ち葉の堆肥化 ～みどりの貯金箱～

公園内の落ち葉を発酵させて堆肥化する「みどりの貯金箱」の取組を行いました。堆肥ヤードは、発寒大空公園とはつなん公園にそれぞれ設置されており、町内会など地域の方々が協力して作業を進めました。毎年春には堆肥が完成し、公園や小学校の花壇などで活用されています。今年PM2.5が高濃度のため小学生参加は中止になりました。【参加者 4月19人、10月20人、11月110人】

廃食油でエコ石けん・キャンドル作り



商店街の店舗などで回収した廃食油(使用済み天ぷら油)をリサイクルし、商店街のお祭りなどでエコ石けん作り体験教室を開催しました。【参加者 6月10人、8月100人、10月50人】



また、小学校や児童会館などでキャンドル作りの出前授業を行いました。【参加者 12月60人、1月30人】

天ぷら油から石けんやキャンドルができるなんてすごいね!

エコタウンはっさむフェア

10月6日、発寒まちづくりセンターで「エコタウンはっさむフェア」を開催しました。エコバッグ作りやエコ石けん作りなどが行われ、多くの人でにぎわいました。【参加者 50人】



環境施設見学会

9月9日予定の施設見学会は、9月6日北海道胆振東部地震のため中止になりました。